

第4章 国土交通省の取り組み

1 国土交通省大臣官房取りまとめ分実施事業について

平成12年度に国土交通省大臣官房の下、国土地理院は「GISを活用した次世代情報基盤の活用推進に関する研究」を実施した。

建設行政の高度情報化推進を支えるとともに、直接的・間接的に国内のGIS利用推進に寄与するため、日本の国土空間データ基盤の主要部分を含むものとして、建設行政において整備するデータ群及びデータ流通・共有を支えるシステムの総称。

1-1 GISを活用した次世代情報基盤の活用推進に関する研究

(1) 国土地理院の取り組み

1) 研究の目的

本研究は、地理情報標準に基づいた実データによる検証の一環として行われており、これらの実験結果をもとに、実運用に耐えうる地理情報標準や運用指針等の作成を行うことを目的として、空間データ作成・検証実験を実施した。

2) 研究の概要

空間データ作成・検証実験

地理情報標準に基づいた製品仕様書を作成し、その製品仕様書に従った空間データの作成実験を大阪府豊中市を実験対象地域として実施した。また、そこで、作成された製品仕様書及び品質評価方法等について検証を行った。

3) 研究の内容

空間データ作成・検証実験

A. 製品仕様書の作成

実験作業の対象となるアプリケーションの機能についてまとめ、対象とする地物を抽出した。具体的には震災時の防災を対象とするアプリケーションを想定した上で各々の地物について地物要件定義を行なった。

B. 製品仕様書の検証

地物要件定義に従い、製品仕様書が作成できることが確認されたほか、製品仕様書の示した空間データが作成可能であることを検証した。また、地物要件定義の定義方法など製品仕様書作成時の問題点等を抽出した。

C . 品質評価方法の検証

作成された空間データについて、作成者自らが品質評価を行い、地理情報標準に基づいた品質評価レポートを作成できることを確認した。また、第三者による品質評価の検証も併せて確認した。